

澤崎 賢一

1978年生まれ、京都／高知在住。アーティスト／映像作家。京都市立芸術大学大学院美術研究科博士（後期）課程修了。博士（美術）。一般社団法人リビング・モンタージュ代表理事。映像メディアを活かした学際的活用の基盤となるプラットフォーム「暮らしのモンタージュ」を企画・運営。主にアジア・アフリカでフィールド調査を行う人類学者や農学者らの協力のもと、彼ら研究者の活動を記録した映像制作を行い、彼らの主たる研究内容だけでなく、そこでこぼれ落ちてしまう「余白」的なものも含めて、映像メディアの使い方を工夫した独自の創造性を追求している。

近年の代表作として、博士課程の研究成果として制作された可変的な映像作品『#まなざしのかたち』(124分、2021年)がある。フランスの庭師ジル・クレマンの活動を記録した長編ドキュメンタリー映画『動いている庭』(85分、2016年)は、「第8回恵比寿映像祭」(恵比寿ガーデンシネマ、2016年)にて初公開、その後も現在に至るまで国内外の劇場などで公開されている。主な展覧会・上映：「フェスティバル・リルケ」(Fondation Rilke、シエール、スイス、2016年)、個展「Linguistic Montage」(MAXXX - Project Space、シエール、スイス、2015年)、二人展「Domestic Archaeology」(GALLERY TERRA TOKYO、東京、2013年)、「Celeste Prize」(ex-Bibli、ローマ、イタリア、2013年)、「Kawaii」(CAMP Contemporary Art Meeting Point、アテネ、ギリシア、2013年)、「Art Court Frontier 2013」(ARTCOURT Gallery、大阪、2013年)、個展「さかいはさま、る しんこうけい」(GALLERY TERRA TOKYO、東京、2012年)など多数。

主な賞・助成金など：日本文化芸術財団 奨学金 (2019年)、野村財団 芸術文化助成 (2019年)、トヨタ財団 個人研究助成 (2017-2018年)、Apple社が提供するiTunesU特集「Best of 2016」選出、京都府文化力チャレンジ (2016年)、アーティスト・イン・レジデンス Combaz7 (スイス) より助成金 (2015年)、アーティスト・イン・レジデンス The Villa Ruffieux (スイス) より助成金 (2015年)、公募「Celeste Prize 2013 (イタリア)」ファイナリストに選出、公募「JEANSFACTORY ART AWARD 2008」グランプリ M 賞など多数。

メール：texasite1206@gmail.com

個人ウェブ：http://texasite.net/

「暮らしのモンタージュ」ウェブ：http://livingmontage.com/

映画「動いている庭」ウェブ：http://garden-in-movement.com/

〈教育、アーティスト・イン・レジデンス〉

2018-21 京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程美術専攻構想設計領域

2019 英国ロイヤル・カレッジ・オブ・アート (PhD in Fine Art) 交換留学

2015 Artist in Residence at Combaz7、クラン＝モンタナ、スイス

2015 Artist in Residence at The Villa Ruffieux、シエール、スイス

2005-07 岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー マルチメディアスタジオ科

2002-03 イギリス、ニューカッスルに滞在

〈展覧会、スクリーニングほか〉

2021 ふくだべろ＋ゆみ、澤崎 賢一、ベ・サンソン「語りあう／あわないイメージたち」(Tosei Kyoto Galley、京都) ※9月予定

映像作品 #まなざしのかたち『雨上がり、水平的に、ストリートにて』、学術論文誌『といとうとい』(査読あり)、京都大学学際融合教育研究推進センター、京都 ※7月予定

2020 映像作品『#まなざしのかたち』完成前の試写会＋意見交換会 (京都芸術センター、京都)

2016 第66回企画展「アートアワードコレクションよりー 美の挑戦者たち」(香美市立美術館、高知)

企画展「フェスティバル・リルケ 2016」(Fondation Rilke、シエール、スイス)

2015 個展「Linguistic Montage」(MAXXX - Project Space、シエール、スイス)

2014 企画展「スケルビルディング映像展」(オーバルギャラリー、大阪)

企画展「イノビ・オーダー 2.7」(いの町、高知)

2013 Kenichi Sawazaki×Thomas Mailaender「Domestic Archaeology」(GALLERY TERRA TOKYO、東京)

公募展「Celeste Prize 2013」(ex-Bibli、ローマ、イタリア)

公募展「3331 千代田芸術祭 2013」(アーツ千代田 3331、東京)

企画展「Kawaii」(C.A.M.P Contemporary Art Meeting Point、アテネ、ギリシア)

企画展「アートコートフロンティア 2013」(アートコートギャラリー、大阪)

2012 個展「さかいはさま、る しんこうけい」(GALLERY TERRA TOKYO、東京)

スクリーニング「GENESIS #01」(JIKKA、東京)

企画展「INOBI ORDER 2.0」(まちかど市 2階ギャラリー、高知)

2010 個展「ある芸術的対話のふたつの形式」(京都芸術センター、京都)

澤崎賢一＋高橋耕平「The same thing or similar things、and an action.」(AD&A gallery、大阪)

企画展「TとTたち——アーティストと、他者としてのアーティスト」(名古屋大学ギャラリー「clas」、名古屋)

企画展「RAKURAKU FESTIVAL」(京都造形芸術大学 GALLERY RAKU、京都)

スクリーニング「VIDEO RELAY 2010」(MUZZ POGRAM SPACE、京都)

2009 企画展「NEW bORDER 展」(蛸蔵、高知)

公募展「P&E2009」(アートコートギャラリー、大阪)

企画展「わくわく Joban-Kashiwa プロジェクト」(旧シネマサンシャイン、千葉)

- 2008 個展「すでにあるものときみかのぞむもの」(遠藤ビル3階、東京)
 公募展「JEANSFACTORY ART AWARD 2008」(高知市文化プラザかるぼーと、高知)
 アートフェア「横浜アート&ホームコレクション」(横浜ホームコレクション、横浜)
- 2007 企画展「グループ展」(MOTT Gallery、東京)
 企画展「Dislocate07」(銀座芸術研究所、東京)
 公募展「第2回札幌国際短編映画祭」(札幌東宝プラザ、札幌)
 公募展「アミューズアートジャム 2007」(京都文化博物館、京都)
 スクリーニング「スクリーニングキャンプ」(遠藤ビル3階、東京)
- 2006 企画展「現代美術の鑑賞事業」(武富町民会館ゆめたろうプラザ、愛知)
 企画展「大垣ピエンナーレ」(ソフトピアジャパンセンター、岐阜)

〈劇場公開、上映会〉

- 2021 映画館「動いている庭」(名古屋シネマテーク、愛知)
 スクリーニング「今がつくりだす未来地図「動いている庭」上映会〜この話の続きをしよう〜」(新潟ふるさと村、新潟)
- 2020 特別オンライン上映「動いている庭」(情報科学芸術大学院大学[IAMAS]、岐阜)
 スクリーニング「動いている庭」(ヘットラボアトリウム、東京)
- 2019 スクリーニング「動いている庭」(西会津国際芸術村、福島)
- 2018 スクリーニング「動いている庭」(あかつき写房、京都)
 映画館「動いている庭」(ほとり座、富山)
 映画館「動いている庭」(深谷シネマ、埼玉)
 映画館「動いている庭」(CINEMA AMIGO、神奈川)
 映画館「動いている庭」(池袋シネマ・ロサ、東京)
 映画館「動いている庭」(上田映劇、長野)
 映画館「動いている庭」(神戸アートビレッジセンター、神戸)
 スクリーニング「動いている庭」(岡山大学、岡山)
- 2017 スクリーニング「動いている庭」(イノセントガーデン、千葉)
 スクリーニング「動いている庭」(高知県立牧野植物園、高知)
 スクリーニング「動いている庭」(スターダスト、京都)
 スクリーニング「第3回生命誌を考える映画鑑賞会」(高槻現代劇場、大阪)
 スクリーニング「Lieux Mouvants」(サン・アントワヌ、フランス)
 映画館「動いている庭」(第七藝術劇場、大阪)
 映画館「動いている庭」(立誠シネマプロジェクト、京都)
- 2016 スクリーニング「動いている庭」(アンスティチュ・フランセ関西、京都)
 スクリーニング「第8回恵比寿映像祭 ー動いている庭ー」(恵比寿ガーデンシネマ、東京)

〈主な作品〉

- 2021 **#まなざしのかたち「雨上がり、水平的に、ストリートにて」**: HD、10分: 学術論文誌『といたうとい』(査読あり)、京都大学 学際融合教育研究推進センター、京都 *7月予定
- 2021 **#まなざしのかたち**: HD、124分: 未公開
- 2016 **動いている庭**: HD、85分: 「第8回恵比寿映像祭」(恵比寿ガーデンシネマ、東京、2016年)、立誠シネマ(京都、2017年)、第七藝術劇場(大阪、2017年)、「Lieux Mouvants」(フランス、2017年)、「第3回生命誌を考える映画鑑賞会」(高槻現代劇場、2017年)、「フランスの庭師 ジル・クレマン ドキュメンタリー映画「動いている庭」上映会+座談会」(高知県立牧野植物園、2017年)、スターダスト(京都、2017年)、イノセント・ガーデン(千葉、2017年)、アンスティチュ・フランセ関西(京都、2017年)、神戸アートビレッジセンター(神戸、2018年)など多数
- 2015 **およいでいる**: HD、9分4秒: 「Linguistic Montage」(MAXXX - Project Space、スイス、2015年)、「フェスティバル・リルケ 2016」(Fondation Rilke、スイス、2016年)
夜がくりかえす: HD、8分30秒: 「Linguistic Montage」(MAXXX - Project Space、スイス、2015年)
- 2013 **不可能な実践**: 映像インスタレーション(HD 10分5秒): 「Domestic Archaeology」(東京、2013年)、「アートコートフロンティア 2013」(アートコートギャラリー、大阪、2013年)
海へ: インスタレーション(板にペインティング、364cm×202cm): 「Domestic Archaeology」(GALLERY TERRA TOKYO、東京、2013年)
最も印象的で、最も古い言語のひとつ / 最も印象的で、最も古いイメージのひとつ / 最も印象的で、最も古い経験のひとつ / 最も印象的で、最も古い録音のひとつ / 最も印象的で、最も古い映像のひとつ: インスタレーション: 「Domestic Archaeology」(GALLERY TERRA TOKYO、東京、2013年)
- 2012 **さかいに はさま る しんこうけい**: インスタレーション(テキスト、カッティングシート、黒マジック): 「さかいに はさま る しんこうけい」(GALLERY TERRA TOKYO、東京、2012年)
よしことしゃんらんがわたし: ラムダプリント、20.3x25.4cm: 「さかいに はさま る しんこうけい」(GALLERY TERRA TOKYO、

- 東京、2012年)
- よしことしゃんらんがわたし**: 映像インスタレーション (HD 3分22秒 x 2): 「イノビ・オーダー 2.7」(いの町、高知、2014年)、
「Celeste Prize 2013」(ex-Bibli、イタリア、2013年)、「Kawaii」(C.A.M.P Contemporary Art Meeting Point、ギリシア、2013年)、「さか
いに はさま る しんこうけい」(GALLERY TERRA TOKYO、東京、2012年)、「GENESIS #01」(JIKKA、東京、2012年)、「スケルビル
ディング映像展」(オーバルギャラリー、大阪、2014年)、「3331 千代田芸術祭」(アーツ千代田 3331、東京、2013年)など多数
- ときのきせき**: 映像 インスタレーション (DV 16分13秒、地図 420x297cm): 「さかいに はさま る しんこうけい」(GALLERY
TERRA TOKYO、東京、2012年)
- 2010 **The same thing or similar things, and an action.**: ミクストメディア・インスタレーション (映像: DV 3分56秒 x 2、紙、マジック、
色鉛筆など): 「The same thing or similar things, and an action.」(AD&A ギャラリー、大阪、2010年)
- 2010-14 **ある芸術的対話のいくつかの形式**: 映像インスタレーション (HD 11分16秒): 「スケルビルディング映像展」(オーバルギャラ
リー、大阪、2014年)、「ある芸術的対話のいくつかの形式」(京都芸術センター、京都、2010年)、「INOBU ORDER 2.0」(まちかど市 2階
ギャラリー、高知、2012年)
- 2009 **無題**: ミクストメディア・インスタレーション (DV 3分56秒 x 2、紙、マジック、色鉛筆など): 「NEW bORDER」(高知、2009年)
恋人は絵描き: ミクストメディア・インスタレーション (pen、water color on paper etc.): 「P&E2009」(アートコートギャラリー、
大阪、2009年)
- 2008-9 **終わりゆくときにとどまり続けること**: 映像インスタレーション (DV 5分3秒): 「すでにあるもの と きみがのぞむもの」(遠藤ビ
ル3階、東京、2008年)、「わくわく Joban-Kashiwa プロジェクト」(旧シネマサンシャイン、千葉、2009年)
- 2008 **交差点のそばに植えた里芋を収穫する**: ミクストメディア・インスタレーション (DV 10分10秒、モニター、DVD プレーヤー、里芋、
写真、黒板、チョーク、ノートほか): 「すでにあるもの と きみがのぞむもの」(遠藤ビル3階、東京、2008年)
親指の爪が剥げてから元に戻るまで: ミクストメディア・インスタレーション (DV 1分、モニター、DVD プレーヤー、写真): 「す
でにあるもの と きみがのぞむもの」(遠藤ビル3階、東京、2008年)
- 2007-8 **日常としての表象+作品後**: ミクストメディア・インスタレーション (DV 8分23秒、DV 13分46秒、インクジェット用紙、段ボー
ル、黒マジック、黒ペンキ、テレビモニター、DVD プレーヤー ほか): 「アーアートアワードコレクションよりー美の挑戦者たち」(香美
市立美術館、高知、2016年)、「スケルビルディング映像展」(オーバルギャラリー、大阪、2014年)、「The same thing or similar
things, and an action.」(AD&A gallery、大阪、2010年)、「VIDEO RELAY 2010」(MUZZ POGRAM SPACE、京都、2010年)、「横浜アート
& ホームコレクション」(横浜ホームコレクション、横浜、2008年)、「JEANSFACTORY ART AWARD 2008」(高知市文化プラザか
るぼと、高知、2008年)、「アミューズアートジャム 2007」(京都文化博物館、京都、2007年)、「第2回札幌国際短編映画祭」(札幌東
宝プラザ、札幌、2007年)、「グループ展」(MOTT Gallery、東京、2007年)など多数
- 2007 **ホワイトペーパー**: ミクストメディア・インスタレーション (HD 21分42秒、モニター、DVD プレーヤー、紙、黒マジック):
「Dislocate07」(銀座芸術研究所、東京、2007年)
- 2006 **反転計画**: DV、9分58秒: 「RAKURAKU FESTIVAL」(京都造形芸術大学 GALLERY RAKU、京都、2010年)、「グループ展」(MOTT
Gallery、東京、2007年)
反転計画: ミクストメディア・インスタレーション (DV 2分6秒 x 2、DV 1分2秒、木、石、瓦礫、ビニールテープ ほか): 「大垣ビ
エンナーレ」(ソフトピアジャパンセンター、岐阜、2007年)
無題: ミクストメディア・インスタレーション (フライヤー、モニター、キャプションなど): 「IAMAS Open House」(IAMAS、岐阜、
2006年)

〈賞、助成金、外部資金など〉

- 2020 令和2年度京都府文化力チャレンジ 補助金
文化庁 令和2年度 文化芸術活動の継続支援事業
- 2019 公益財団法人日本文化芸術財団 第24回日本文化芸術奨学金
公益財団法人野村財団 奨学助成金
- 2017-18 公益財団法人トヨタ財団 個人研究助成 D16-R-0344 「暮らしの目線」に見るフィールド研究の感性—映像メディアを活かす超学際
研究の表現形の探究—
- 2016 iTunesU 特集「Best of 2016」選出
平成28年度京都府文化力チャレンジ 補助金
- 2015 スイスのレジデンス Combaz7 より助成金
スイスのレジデンス Villa Ruffieux より助成金
- 2013 「Celeste Prize 2013」Finalist に選出
- 2013 「3331 千代田芸術祭 2013」入選
- 2008 「JEANSFACTORY ART AWARD 2008」グランプリ M 賞
- 2007 「第2回札幌国際短編映画祭」入選
「アミューズアートジャム 2007」入選

〈研究発表、ワークショップ、イベントなど〉

- 2021 国際学会「The 12th International Convention of Asia Scholars - Crafting a Global Future」、京都精華大学 (オンライン)、2021年8
月24-28日 *ラウンドテーブルに登壇予定

- 澤崎賢「研究者とフィールドの「あいだ」で映像メディアを活用した新たな創造性」、アフリカ・アジア現代文化研究センター プロジェクト報告会、京都精華大学（オンライン）、2021年6月25日
- 「ファンダメンタルズ バザール」（主催：科学技術広報研究会（JACST）隣接領域と連携した広報業務部会、共催：東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構（Kavli IPMU））で発表と交流、日本科学未来館7階 木星、2021年6月5-6日
- 2020 澤崎賢「『暮らしのモニタージュ』の活動と経緯について」、京都大学 学際融合教育研究推進センター「全分野交流会」、京都大学（オンライン）、2020年9月29日
- 2019 澤崎賢「研究者とフィールドの「あいだ」で映像メディアを活用した新たな創造性」、京都精華大学アフリカ・アジア現代文化研究センター キックオフ・ミーティング、京都精華大学、2019年6月21日
- 2018 澤崎賢「『知の余白と感性のモニタージュ - 映像表象の学際的活用のアナザーモデルの研究 -』」、京都市立芸術大学、京都、2019年1月23日
- 澤崎賢「『暮らしの目線』に見るフィールド研究の感性—映像メディアを活かす超学際研究の表現形の探究—」トヨタ財団研究助成プログラム オープンワークショップ「社会の新たな価値の創出をめざして」、早稲田大学、2018年4月14日
- 2017 田中樹・須田征志・澤崎賢・中村洋「熱帯山間地域の脆弱環境における暮らしの向上と生態環境保全の両立—タンザニアでの香料作物栽培をめぐる経験則以上学術研究未満の試行から—」（日本国際地域開発学会 2017年度秋季大会、高知大学、高知）
- ワークショップ「映像&写真制作ワークショップ」（総合地球環境学研究所、京都）
- 澤崎賢「『暮らしの目線』に見るフィールド研究の感性—映像メディアを活かす超学際研究の表現系の探究」、第1回 地球研・北大 TD VISUALIZATION ワークショップ、北海道大学、2017年1月31日
- 2013 ワークショップ「What makes your home?」（イオンモール KYOTO、京都）
- 2012 ワークショップ「Picnic #24 戦争を思考するためのアートの実践について」（鴨川近辺、京都）
- ワークショップ「Picnic #23 いつ芸術的効果は生じるかについて」（鴨川近辺、京都）

〈トークイベント〉

- 2020 澤崎賢＋山内朋樹、聞き手：松井茂「特別オンライン上映『動いている庭』アフタートーク」
- 2018 澤崎賢「『動いている庭』アフタートーク」（あかつき写真房、京都）
- 澤崎賢＋田坂博子「『動いている庭』アフタートーク」（池袋シネマ・ロサ、東京）
- 澤崎賢「『動いている庭』ティーチイン」（池袋シネマ・ロサ、東京）
- 2017 澤崎賢＋山内朋樹＋エマニュエル・マレス「『動いている庭』座談会&園内散策」（高知県立牧野植物園、高知）
- 澤崎賢＋エマニュエル・マレス「『動いている庭』アフタートーク」（スターダスト、京都）
- 澤崎賢＋山内朋樹＋エマニュエル・マレス「『動いている庭』アフタートーク」（第七藝術劇場、大阪）
- 澤崎賢＋山内朋樹「『動いている庭』ミニ講義」（立誠シネマ、京都）
- 澤崎賢＋山内朋樹＋エマニュエル・マレス「『動いている庭』アフタートーク」（立誠シネマ、京都）
- 2016 澤崎賢＋エマニュエル・マレス、進行：三村豊「『動いている庭』アフタートーク」（アンスティチュ・フランセ関西、京都）
- 澤崎賢＋エマニュエル・マレス「第8回恵比寿映像祭」での『動いている庭』アフタートーク（恵比寿ガーデンシネマ、東京）
- 2013 澤崎賢、ゲスト：勝又公仁彦「Domestic Archaeology」関連企画（GALLERY TERRA TOKYO、東京）
- 澤崎賢＋中村史子「Art Court Frontier 2013」関連企画（アートコートギャラリー、大阪）
- 2012 澤崎賢、ゲスト：井上文雄、橋本誠、進行：島貴泰介「芸術という出来事の社会的な効果について」（GALLERY TERRA TOKYO、東京）
- 澤崎賢＋津島岳央＋勝又公仁彦「GENESIS #01」関連企画（JIKKA、東京）
- 2010 澤崎賢＋高橋耕平＋大崎のぶゆき＋田中さつき＋中村史子「特別な他者—アートという場における「連帯」」（名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」、名古屋）
- 2009 「P&E2009」公開ディスカッション

〈レビュー、記事、コメント、新聞など〉

- 2017 高嶋慈「澤崎賢『動いている庭』」（web マガジン Artscape）
- 「パリの展覧会で30万人を魅了したフランスを代表する庭師ジル・クレマン。彼の庭が語りかけるものを切り取った民俗誌的ドキュメンタリー『動いている庭』！」（web マガジン シネフィル）
- 椿玲子（森美術館）、中村史子（愛知県美術館）、川瀬慈（国立民族学博物館）、田坂博子（東京都写真美術館）、鈴木昭男（サウンド・アーティスト）、坂本公成（コレオグラファー）、高野てるみ（映画プロデューサー）などからコメントを頂き、映画『動いている庭』の公式ウェブサイトに掲載
- 2013 中村史子「捉まえられない怪物を想像すること」（Art Court Frontier 2013 カタログ）
- 酒井千穂「Art Court Frontier 2013」（web マガジン Artscape）
- 2010 高嶋慈「現代の「主体性」をめぐる、ささやかな抵抗の試み」（ウェブマガジン Peeler vol.072）

〈テレビ、ラジオ、ネット番組など〉

- 2020- YouTube 対談番組「リビモン・チャンネル」、企画：寺田 匡宏、澤崎 賢一
- 2017 澤崎賢＋山内朋樹出演、パーソナリティー：森夏子、ラジオ α-STATION「KYOTO AIR LOUNGE」
- 2008 頃 テレビCM「ジーンズファクトリー」※映像作品「日常としての表象」

〈出版物、記事など〉

- 2021 澤崎賢一「暮らしのモニタージューフィールド研究の余白」、『論文誌『いととうい』(査読付)、京都大学学際融合教育研究推進センター *7月出版予定
澤崎賢一「映画『動いている庭』にまつわる話」、ジル・クレマン著／エマニュエル・マレス編『庭師と旅人―動いている庭』から「第三風景」へ』秋山研吉訳、あいり出版
澤崎賢一「フィールドの「余白」にあるもの」、田中樹編『エッセイ集 フィールドで出会う風と土と人』
- 2020- 澤崎賢一連載「ことばとイメージと」、暮らしのモニタージュ公式ウェブサイト
- 2020 澤崎賢一「手のひらデザイン #86 小さなカメラと移動するカラダ」、ウェブマガジン・アネモメトリ - 風の手帖 -, 京都芸術大学 Kenichi Sawazaki, PROVA 5 (an annual RCA Arts & Humanities Research Journal)、英国ロイヤル・カレッジ・オブ・アートの年間ジャーナル
- 2019 連載 澤崎賢一「暮らしのモニタージュ」第6回「ブルキナファソを喰う！」(Web マガジン シネフィル、2月)
- 2018 連載 澤崎賢一「暮らしのモニタージュ」第5回「ブルキナファソ、チャパロと優雅な時間」(Web マガジン シネフィル、8月)
連載 澤崎賢一「暮らしのモニタージュ」第4回「ブルキナファソ、カッセーナにて」(Web マガジン シネフィル、4月)
連載 澤崎賢一「暮らしのモニタージュ」第3回「ブルキナファソ、首都ワガドゥグにて」(Web マガジン シネフィル、3月)
連載 澤崎賢一「暮らしのモニタージュ」第2回「ケニア、地熱発電とマサイの暮らしの変化 2/2」(Web マガジン シネフィル、1月)
連載 澤崎賢一「暮らしのモニタージュ」第2回「ケニア、地熱発電とマサイの暮らしの変化 1/2」(Web マガジン シネフィル、1月)
- 2017 新連載 澤崎賢一「暮らしのモニタージュ」第1回「ケニア、マサイの集落へ」(Web マガジン シネフィル、12月)
- 2016 澤崎賢一「監督より」(映画『動いている庭』公式ウェブサイト)
澤崎賢一「クレマンさんの庭を訪問したときの話」、映画『動いている庭』パンフレット、2016年9月発行

〈フィールドワーク〉

- 2020 タンザニア、モロゴロ州(2月)：田中樹氏のフィールド調査に同行し撮影
- 2018 ブルキナファソ、ワガドゥグ・コングシなど(10-11月)：清水貴夫氏のフィールド調査に同行し撮影
タンザニア、モロゴロ州(6-7月)：田中樹氏のフィールド調査に同行し撮影
- 2017 タンザニア、モロゴロ州(8月)：田中樹氏のフィールド調査に同行し撮影
ベトナム、フエ近郊(3月)：田中樹氏のフィールド調査に同行し撮影
インドネシア、プカンバル近郊(3月)：水野啓氏のフィールド調査に同行し撮影
東ティモール、ディリ近郊(2月)：阿部健一氏のフィールド調査に同行し撮影
- 2016 ブルキナファソ、ワガドゥグ近郊(12月)：清水貴夫氏のフィールド調査に同行し撮影
ケニア、オルカリア近郊(10月)：田中樹氏のフィールド調査に同行し撮影

〈ドキュメント映像〉

- 2020 ドキュメント映像『古屋集落』(HD、31分)*
- 2019 ドキュメント映像『古座川の伝統養蜂 - 和歌山県古座川地域のニホンミツバチ養蜂 -』(HD、30分、日英字幕)*
ドキュメント映像『昭和の作庭記―森蘊の足跡を辿る―』(HD、58分、制作：一般社団法人リビング・モニタージュ)
ドキュメント映像『怒田集落 - 地域の「ための」民謡づくり - 「たらしめことば」の語りとアートの実践』(HD、14分)*
- 2018 ドキュメント映像『パニラ・プロジェクト 2017-2018』(HD、4分、制作：一般財団法人地球・人間環境フォーラム)
- 2017 ドキュメント映像『世界農業遺産へ 東ティモール、エゴ・レモスと共に』(HD、32分)*
ドキュメント映像『貧困の連鎖を断ち切る ～ベトナム・フエ市での学習支援～』(HD、14分)*
ドキュメント映像『熱帯泥炭社会』(HD、12分)*
ドキュメント映像『なつかしい未来』(HD、75分)*
ドキュメント映像『フィールドの感性 - 若手研究者の活動記録 2016年～2017年』(HD、19分)*
- 2016 ドキュメント映像『太一さん縄をなう - 知内集落にて -』(HD、19分)*
- 2015 ドキュメント映像『ジル・クレマン連続講演会』(HD、26分、iTunesU 特集「Best of 2016」選出)*

*制作：総合地球環境学研究所

〈ドキュメント映像の活用事例〉

- 2021 企画展「京都の庭を守ったひとたち―森蘊と法金剛院―」、京都産業大学ギャラリー、京都、2021年6月1日-7月17日
※『昭和の作庭記―森蘊の足跡を辿る―』の上映
- 2020 企画展「森蘊の業績と京都の庭園」、京都アスニー(京都市生涯学習総合センター)1階、2020年12月16日-2021年5月31日
※『昭和の作庭記―森蘊の足跡を辿る―』の上映
「ミツバチサミット 2019」つくば国際会議場、茨城、2019年12月13-15日
※真貝理香氏(総合地球環境学研究所)による講演「日本の山間域における、伝統的ニホンミツバチ養蜂の総合的研究・映像化。―研究プラットフォームの作製にむけて」にて、『古座川の伝統養蜂 - 和歌山県古座川地域のニホンミツバチ養蜂 -』の上映
- 2019 名勝大乗院庭園文化館事業 第7回庭園研究講座、京都、2019年10月6日
文化財庭園保存技術者協議会総会・研修会、奈良、2019年7月20日
※『昭和の作庭記―森蘊の足跡を辿る―』の上映

「先端技術と風土の未来—知識と記憶継承の可能性をひらくためのテクノロジー的介入と未来像の予兆」、琉球大学 50 周年記念館、沖縄

※三村豊「たらしめことば」の記録と民謡づくりの実践——高知県長岡郡大豊町怒田集落の事例」(主催：総合地球環境学研究所)の発表で、『怒田集落 - 地域の「ための」民謡づくり - 「たらしめことば」の語りとアートの実践』が上映

2016 地球研オープンハウス「フィールドで出会う「手しごと」」(総合地球環境学研究所、京都) ※映像展示『太一さん縄をなう - 知内集落にて -』

〈その他、関連する映像〉

2021 紹介映像「くせになる！地球犬ラポストーリー 1～3」*

2019 記録映像《Humanities on the Ground: Confronting the Anthropocene in Asia》(HD、11 分 30 秒)*

記録映像《「みんなで創る地球環境ポスター展」ワークショップ》(HD、5 分)*

2018 子ども大学よこはま 第 5 回「アフリカのストリートの子どもたち」(横浜市技能文化会館 多目的ホール、横浜)

※清水貴夫氏の授業でブルキナファソで記録した映像を上映

地球研 × ナレッジキャピタル - おいしい地球環境学 - 「第 1 回 タンザニアでスパイスの村をつくろうー貧困問題と環境荒廃に向き合う知恵ー」(CAFE Lab. グランフロント大阪、大阪) ※田中樹氏の発表でタンザニアで記録した映像を上映

記録映像：第 76 回地球研市民セミナー「中国の環境問題と向き合って」*

記録映像：第 1 回フューチャー・デザイン・ワークショップ*

記録映像：第 75 回地球研市民セミナー「地域資源の活用から始まる 環境問題解決への取り組み」*

2017 記録映像：第 69 回地球研市民セミナー「生物多様性の問題を社会に根づかせる」*

地球研オープンハウス「泥炭地」のなぞをさぐるう！」(総合地球環境学研究所、京都) ※映像展示

地球研オープンハウス「名刺をもって研究者に話しにいこう！にじいる地球研」(総合地球環境学研究所、京都) ※映像展示

2016 記録映像：第 17 回地球研地域連携セミナー「30 年後の能代のために、明日のごはんを考えよう」*

記録映像：第 68 回地球研市民セミナー「環境史から考える近代アジア」*

展示映像：「キリシタン遺物」(制作：茨木市教育委員会)

記録映像：地球研公開シンポジウム「懐景創景」*

記録映像：第 66 回地球研市民セミナー「高校生とともに考える「京・街・環境」」*

プロモーション映像《Future Earth 日本における戦略的研究アジェンダワークショップ》(HD、8 分)*

記録映像：第 15 回地球研地域連携セミナー「天草「のさり」の活かし方 - 天草の未来可能性」*

2015 記録映像：スペシャルセッション「あたらしい成長の形：定常化社会を考える」*

記録映像：「オギユスタン・ベルク『芸術作品の起源』への風土的道のり」*

記録映像：「ポップ・ウイリアムズワークショップ」*

2014 プロモーション映像《2nd International Workshop on Future Earth in Asia》(HD、7 分)*

プロモーション映像《東山アーティスト・プレイスメント・サービス(HAPS)》(制作：HAPS)

* 制作：総合地球環境学研究所

〈研究プロジェクト〉

2020- 現在 京都精華大学アフリカ・アジア現代文化研究センター研究プロジェクト「研究者とフィールドの「あいだ」で映像メディアを活用した新たな創造性」(研究代表者)

〈職務関連〉

2021- 現在 京都市立芸術大学(非常勤講師) *10 月 -

2018- 現在 一般社団法人リビング・モンタージュ 代表理事

2018-19 一般財団法人 地球人間環境フォーラム 技術専門アドバイザー

2017 帝塚山学院大学(非常勤講師)

2009-11 華頂女子高等学校(非常勤講師)

2009 株式会社バンタン(非常勤講師)